

かんぽ生命における渉外再編後の労使対応等に係る緊急要求メモに対する回答

要 求	回 答
<p>1. 兼務出向する社員は今後の働き方等に多くの不安を抱えていることから、風通しがよく働きやすい職場を作っていくことが重要である。そのためには、支部・分会と良好な関係を構築することが喫緊の課題と考えるが、支部労使、職場労使のコミュニケーションの方策について明らかにすること。</p> <p>2. 渉外再編後は職場（分会）において会社対応する機会が多くなるが、これまで労使交渉の経験のない（もしくは浅い）かんぽサービス部長（副部長）が多いことから、労使コミュニケーションルールや職場労使委員会・事業推進委員会の開催方法等について、確実に理解させ、実行できるよう指導を徹底すること。</p> <p>なお、かんぽサービス部長（副部長）への指導については、日本郵便信越支社と連携し行うこと。</p> <p>3. 渉外再編後はかんぽ生命支店長等が当該エリア内の支部と団体交渉等を行うこととなるが、広範囲かつ複数支部となることから、各支部との日程・時間調整については、早めの日程調整を行うよう最大限の配慮をすること。</p>	<p>1. 2022年4月からかんぽ生命に出向となる社員に対し、これまでフロントラインミーティング等を通じて不安の払しょくに努めてきたところです。フロントラインミーティングでは、回数を重ねる毎に理解を深めてきた一方で、まだ不安のある社員がいることも認識しています。</p> <p>そのため、新しいかんぽ営業体制への移行後においても不安のある社員に対し丁寧な対応に努めていきます。</p> <p>特にかんぽサービス部長（副部長）に対しては、社員と対等の立場で正面から向き合い、社員一人ひとりを大切にすマネジメントを実行できるよう指導していきます。</p> <p>また、支部・分会の役員とコミュニケーションを密にし、定例窓口では対面での対応を基本とし、信頼関係を高めていくこととします。</p> <p>2. かんぽサービス部長（副部長）については、これまでのキャリアを鑑みれば、労使交渉等の対応について経験が浅いと推定されることから、労使のコミュニケーションの必要性やその仕組み、自身の役割等について、しっかりと理解させ実行できるよう、会議等を通じて指導していきます。</p> <p>なお、かんぽサービス部立ち上げの時期は不慣れな点も多いことから、郵便局の労務担当者から助言をいただき、労使コミュニケーションに則った対応をしていきます。</p> <p>3. 渉外再編後については、窓口となる業務部長が支部との連携を密に行い、団体交渉等を行う際には、早期かつ能動的に支部へ連絡し、支店において余裕をもった日程調整を行います。</p>